

ごみ非常事態宣言を受けて全市民が取り組んできたごみ減量化の取り組み、生物多様性の保全に向けた市民やNPOの取り組みなど、私たち名古屋市民の環境問題解決に向けた行動は着実に進められてきました。

なごや環境大学は、2005年の開設以来、市民・企業・行政・大学などの協働によって活動が発展し、2010年度には年間講座数が173講座、受講者数は20,000人を超え、設立当初の2倍の規模になりました。これらを踏まえ、第3期は、持続可能な環境首都なごやを実現するために、ライフスタイルの転換や多様な主体の参加と協働によるまちづくりをさらに進めるためのビジョンを策定しました。

なごや環境大学実行委員会

なごや環境大学 第3期ビジョン

【基本理念】

持続可能な都市の実現に向けて、社会の多様な主体が「行動しやすくなるしくみづくり」に力をいれます。

【基本方針】

1. 多様な分野の人々が情報を共有し、問題意識や専門性を生かした議論を行い、「誰もが参加可能な、実行を伴う事業」の展開を目指します。
2. これまで築いたつながりを生かし、多様な主体のもつ、「名古屋を動かそう」という意欲を行動に結びつける、より開かれた大学を目指します。

【事業の主な柱】

1. 「第三次名古屋市環境基本計画」と3つの「2050年なごや戦略」を踏まえ、核となる事業を設定します。
2. 『持続可能な社会づくりに関わる知識・情報、地域の情報』を提供します。
幅広い講座に加え、ゼミナール活動等の支援を進めます。
3. 人材・組織のデータベース、双方向コミュニケーションを可能にする情報媒体を活用し、多様な主体が情報等資源を持ち寄り、意見を出し合う場をつくります。
4. 協働による社会実験を通じて、その成果、評価を検証し、「政策やビジネスシーズ」として社会に提案します。

【実施体制】

第3期ビジョンを着実に達成していくため、実行委員会体制の充実・強化、議論や意思決定プロセスの透明性の強化、外部評価システムの導入、事務局機能の強化などを通じて、実施体制のさらなる改善を進めます。